

## 第171回防衛調達審議会議事要旨

### 1 日時

令和3年11月17日（水）10時00分～11時40分

### 2 場所

防衛省庁舎A棟11階第1省議室

### 3 出席者

（委員）

河村会長、片岡委員、柴山委員、西谷委員、林委員、藤川委員、星委員

（防衛省）

防衛装備庁 春日原長官官房審議官、萬浪装備政策部長、内藤調達管理部長、北澤調達事業部長、岩脇監察監査・評価官（事務局）

金刺統幕首席後方補給官、陸幕装備計画部長代理装備計画課補給管理班長、今吉海幕装備計画部長、坂本空幕装備計画部長

### 4 議題

- （1）随意契約に係るサンプリング調査審議（令和2年度防衛装備庁（第2回））
- （2）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和2年度防衛装備庁（第2回））
- （3）令和3年度防衛調達審議会開催計画の見直し
- （4）次回の日程等

### 5 議事概要

- （1）随意契約に係るサンプリング調査審議（令和2年度防衛装備庁（第2回））

令和2年度に防衛装備庁が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「RCS計測用小型航空機実大模型の製造」について審議を行った。

（RCS計測用小型航空機実大模型の製造の契約の概要）

本件は、防衛装備庁において先進技術実証機のRCS（レーダ反射断面積）計測試験を実施するにあたり、必要となる実大模型の製造を行うものである。

**【事前調査における論点等】**

- ① 契約相手方と下請負者（再下請負者等を含む）の間における資本関係や取締役の派遣など、下請負者等の独立性について説明されたい。
- ② 査定率の算定プロセス及び算定要素の合理性について説明されたい。

**【本審議】**

事前調査の論点について

（資料に基づき防衛省側から説明）

（RCS計測用小型航空機実大模型の製造）

事前調査の論点①及び②について

委：査定率を用いるのは実績が見積を下回る事例があるためだと理解するが、本契約の参考となる契約の査定率が実績と照らして適切であったかどうかの検証は、監査で行ったのか。

防：監査付契約ではないが実績を確認した。

委：会社の詳細な見積に対して、計算で査定率を当てはめても適切だという説明がほしい。

委：実績を見るとともに会社の見積を精査し、次回以降の予定価格の査定にどのように活かすかという委員の意見なので、参考にしてほしい。

防：承知した。

委：外注費について、民間企業同士の取引とはいえ下請負企業がどのように見積もりを算出したのかを確認した方がよいのではないか。難しいのか。

防：契約相手方を通して必要性については確認している。金額については契約相手方が下請負企業との間で詰め切っていないこともあるが、見積の中身は確認している。

**（2）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和2年度防衛装備庁）**

**【1者応札案件及び仕様書等に係るサンプリング調査審議案件2件】**

- ① ヘリコプター搭載評価装置の製造
- ② NDS Z 8201 標準色見本

**【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】**

- ③ 防衛装備品等に関する調査実施のための総合コンサルタント役務

**【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件1件】**

#### ④ サプライチェーンリスクの回避に向けた企業支援策の検討

##### 【事前調査における論点】

##### ① ヘリコプター搭載評価装置の製造

- ・ 1者応札となったことについて推察される理由を「経営的判断」で済ませるのではなく、より具体的な個別の説明をしてほしい。
- ・「関連する契約」の概要を整理されたい。

##### ② NDS Z 8201 標準色見本

- ・類似品がコモディティとして市中に存在しているので、それらとの価格比較をしたというプロセスを残しておいてほしい。
- ・過去の類似の契約状況（件名、品名、数量、応札者、応札金額）を示されたい。

##### ③ 防衛装備品等に関する調査実施のための総合コンサルタント役務

- ・企画競争と総合評価落札方式のいずれを選択するかについてのルールを示されたい。
- ・入札情報の周知のためにも、過去の応札業者には案内通知することなど、検討されたい。
- ・応札企業数を減少させないための今後の取組について示されたい。
- ・本件調査の発注成果に対する価格の妥当性をどのように評価しているのか示されたい。
- ・過去の本件及び類似の契約状況（件名、品名、数量、応札者、見積額、応札金額、調査内容及びそのボリューム）を示されたい。
- ・本件は精算条項付契約となっているが、平成29年度以降の契約は精算条項付契約か。その場合、条項が適用され精算が行われた契約はあるのか。精算が行われた契約があれば、その内容を説明されたい。

#### ④ サプライチェーンリスクの回避に向けた企業支援策の検討

- ・グローバル展開企業への発注時の情報管理リスクに心配がある。官側の実査の具体的な状況を確認したい。
- ・本件は総合評価落札方式を取っているが、応札者3者について、具体的にどのように応札者の提案書、応札価格を評価したのか説明されたい。
- ・本件調査の発注成果に対する価格の妥当性をどのように評価しているのか示されたい。
- ・過去の類似の契約状況（件名、品名、数量、応札者、応札金額）を示されたい。

## 【本審議】

### ① ヘリコプター搭載評価装置の製造

防：本契約が1者応札となった背景として、他業者が別契約で発生した納期遅延の対応に追われていたことが考えられる。

委：1者応札となって推察される理由について、単に「経営的判断」とするだけではなく、他業者が応札しない判断に至った理由まで問題意識を持って今後も調べてほしい。

防：以後も続けたい。

委：本契約に関連する別の契約で納期遅延があったというが、そのような状況で本契約の検討作業は行えるのか。

防：納期遅延の要因は本契約に影響のないところなので、検討作業は行える。

### ② NDS Z 8201 標準色見本

委：平成28年度及び本契約それぞれで、前回契約と比して価格の上昇傾向がみられるのはなぜか。

防：28年度の直近前例である24年度は防衛装備庁以外にも購入者がおり、数量効果のため安価で契約できた。本契約と直近前例の28年度契約の価格差の主因は消費税増である。

委：防衛装備庁以外の購入者がいることで安価になるのであれば、他の購入者がいないか購入のタイミングで調査してほしい。

防：検討したい。

委：24年度が安価であったという説明の検証のため、24年度の直近前例である20年度の契約金額を示してほしい。文書保存期限が経過しており資料廃棄済みであれば、契約相手方に聞き取り調査してほしい。20年度の契約金額が把握できたら、価格の変動が大きい理由をフォローアップで説明してほしい。

防：20年度の契約資料はすでに廃棄されているところ、契約業者にも聞き取りを実施したい。

委：民生品との価格比較を残しておいてほしい。

防：了解した。

### ③ 防衛装備品等に関する調査実施のための総合コンサルタント役務

委：武器を輸出できる法制が整ったのであれば、各企業でマーケット調査をすればよいのではないかと考えるが、防衛省が本契約を実施するのはなぜか。

防：防衛装備品の海外移転については、これまで武器輸出三原則があり、武器の輸出は原則として慎むというのが政府の立場であったことから、企業にとって

マーケットが形成されていなかった。一方で、平成26年に防衛装備移転三原則ができたが、これは、防衛装備庁にとって防衛装備・技術協力は他国との国際協力を推進する上で重要であるため、装備庁自体も主体的に推進している。また、防衛装備移転は、ユーザーである他国の軍隊についても情報収集等を行い、防衛省として防衛当局間あるいは制服同士の関係で先方のニーズを把握して進めていくものである。したがって、本件は、防衛装備庁が役務契約を結んで調査を行った上で企業と連携していくこととしている。

#### ④ サプライチェーンリスクの回避に向けた企業支援策の検討

委：海外に拠点をもつ企業などの情報システムの情報セキュリティ監査では実査を行うのか。

防：一般に企業の情報システムの実情に応じて確認している。書面及び必要があれば実際に確認している。

委：総合評価落札方式の技術点と価格点の配分には基準があるのか。

防：防衛装備庁で定めている内部規則の技術点と価格点の配分の基準によっている。

#### (3) 令和3年度防衛調達審議会開催計画の見直し

コロナ禍による現地視察の日程変更などの令和3年度防衛調達審議会開催計画見直し案について、事務局から説明、了承された。

#### (4) 次回の日程等

今回は12月10日(金)の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。